

しばらく先がみえない状況の自粛生活をいかがお過ごしでしたでしょうか。
新しい日常となりますが 一緒に 素敵な日々になりますよう 過ごしてまいりましょう。



**「いつでも そばにいるよ」と伝え
必要な時に手を差し伸べ、必要な援助ができる団体を目指して**

理事長 小俣みどり

当団体 NPO 法人子育てネットワーク・ピッコロは、市民を主体として市民の発意により活動する市民活動団体です。活動においては非営利ですが、収益を目的に事業を行うことは認められています。ただし事業で得た収益に関しては、様々な社会課題の解決に充てることと定められています。

1998年1月に発足して22年、「預かる理由は問わず、困った時に手を差し伸べる」を掲げ、「保護者の急病や休養のときの子どもの預かり」「病気になった子どもの預かり」「産前産後の家事支援」「保護者と一緒の預かり」「泊りが伴う預かり」等、その家庭の困ったに対応するために、支援者の研修を積み、臨機応変に支援内容を考え、早朝や夜間の対応にも取り組んできました。

2005年、ファミリー・サポート・センター事業を受託し、全国のどこよりも利用しやすいと認められ、支え、支えられることの大切さ、より住みやすい地域にしたいという仲間の熱い思いで、ひとり親・養育支援・つどいの広場などを受託し、事業展開ができています。

しかしながら、ファミリー・サポート・センター事業の内容は、国で決められており、「できること・できないこと」がはっきりしているため、その「できないこと」の狭間の時間帯等を担っていくこと、個々の家族のニーズに寄り添っていくことが、ピッコロの使命だと思っています。

現在は、家族まるごと支援の必要性から、介護サポート・ピッコロの支援活動をスタートして4年目を迎えています。

運営の安定や支援者の不足、活動を担っていく次世代の育成等課題はあるものの、地域の方々や行政、他の関係機関との連携、専門職の方々の力を今後もお借りしながら、熱い思いを失うことなく、どんなときも当団体の理念に立ち戻り、NPO法人としての役割を大切にしていきたいと思っています。

ピッコロ理念

- 個々を尊重する社会
- 家庭の問題は社会の問題と捉え、子どもが安心して育つ社会を目指す
- 地域で支え合う循環型の子育て支援を共につくる
- 継続的な活動を可能にする「組織力」

2020年度は、新たな取り組みとして、理事の力をお借りしながら、長年蓄積してきた全ての事業のヒヤリ・ハットを検証して、支援の質を向上させ、安全・安心な活動を続けていくこと、他の団体の方々にも役立つものを作成することを実施していきます。

今後ともみなさんと共に歩いていくピッコロをどうぞよろしく願います。



第17回定期総会報告

6月13日(土)、ZOOMでのオンライン会議形式で総会を行ないました。

参加者 正会員総数 65名

出席正会員 56名 (内訳)当日出席28名/表決委任者28名

2019年度事業報告・決算報告・監査報告と2020年度事業計画(案)・活動予算(案)が提示され、それぞれ承認されました。

今年度は役員の任期が終了となり、総会において下記の方々が理事・監事就任の承認を得ることができました。

【理事】小俣みどり 西郷泰之 工藤宏子
木村容子 辻村敏子 丸山安三 牧野靖子

【監事】我謝悟 八代田道子
(2020年~2021年の2年任期)

第56回理事会報告

6月13日(土)、定期総会終了後、10分の休憩を挟んで理事会を開催し、理事長と副理事長の選任を行ったところ、全員一致で、理事長は小俣みどり、副理事長に牧野靖子が選任されました。どうぞよろしくお願いいたします。

【支援活動について引続きお願い】

- 新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、当法人の活動は、引続き、すでに配布しております「チェックリスト」を元に行ないます。
- 今後の対応につきましては、HPでもご案内いたしますので、随時ご確認いただきますようお願いいたします。

ホームスタート講演会&報告会

6月28日(日)ころぼっくるホールにおいて「ひとりがんばらないで ~子どもはかわいいのになぜイライラするの?~」をテーマに講師:高祖常子(こうそ ときこ)さんをお招きしてホームスタート講演会&報告会を行ないました。

コロナ対策として、200名定員を50名にし、マスク着用やアルコール消毒の上、30分ごとの換気を行なったの開催でした。それでも定員いっぱいの方が参加くださり、「こんな時だからこそ、オンラインではなく会いたかった」、利用者の方は「ずーっと引きこもっていたから参加出来て嬉しい」と話してくださいました。

高祖さんからは、子育て中の方をメインにお話いただき、支援する人にもヒントになるお話をさせていただきました。印象に残ったことはたくさんありますが、「怒っている人は困っている人」、だから周りの人に助けて!!と言って助けて(手伝って)もらうことが大事と話されました。ホームスタート利用の方の発表は、モデル事業として行なっている『ホームスタートによる学齢期の家庭』の方で「自粛で学校が休みになり一人で子どもといるのがしんどくなっていた時期に学齢期の家庭の訪問があると聞き、利用。ビジターさんが子どもと遊んでくれたり、私の話を聞いてくれ、その時期を乗り越えることが出来た」と利用しての思いを話していただきました。会場に来てくれた利用者さんからも感謝の気持ちを聞かせていただき、温かい雰囲気となりました。



高祖常子さん

高祖さんの講演に対するミニ感想を!! 清瀬市教育長 坂田篤



教育長、お忙しい中ありがとうございます

私は元中学校の教員ですが、現場にいる頃、一人の母親から、“子育てって、自分育てなんですよ”と言われ、私も“子どもが、自分を育ててくれている”これは親子関係だけでなく、教師—子どもの関係でも言えること、子どもは実にたくさんの方の事を教えてくれます。実にさまざまなことを振り返らせてくれます。イライラもさせてくれるし、失望もたくさん与えてくれるけど、喜びと感動も、希望もたくさんプレゼントしてくれます。このことを一人でも多くの親に教師に気づいて欲しいと願い小さな努力をすることが、ミッションと考えています。

さて、高祖さん、お話の中でおもちゃを友だちから奪って逃げる子どものワークがありました。できれば「ニコニコ」「またあんなことして~」の心で対応したいと思いますが、周囲がそれを許してくれない状況があるのでは?すなわち、「あのお母さん、うちの子のおもちゃをとったのにあんなのんびり対応している。どんな親!?’などの反応が親にとって最大の恐怖ということ。

まず、誰かが始めなければ社会は変わらないので、最初のペンギンとしての“勇気”を持つべきとは思いますが、社会のバイアスに立ち向かうのは大変ですね。

“頑張れ!! お母さんたち!!”

最初のペンギンとは(summry 参照) = 英語圏では、「最初のペンギン」を勇気を持ってチャレンジする人のことを指す。不確実な状況下で勇気を持って決断する人が賞賛される文化である。

ホームビジターを利用して

E.Sさん



私がホームビジターを利用したきっかけは、双子の妊娠でした。当時は、1歳半の長男がいて夫は単身赴任中、両親は遠方という状況の中で双子を妊娠し、あまりの不安から、子ども家庭支援センターに駆け込み、相談した際にホームビジターを勧めていただきました。

産後のホームビジターでは、双子を一人で沐浴する練習をしたり、ビジターさんに近所のパン屋さんや野菜の直売所を教えてもらいそこまでの散歩を楽しみました。ビジターさんと一緒に過ごし、色々な話を聞いてもらえる2時間は、私にとってリフレッシュできるとても楽しい時間となりました。

思えば、長男の時は、「母親だしこのくらい一人でできなくては。」という思い込みや、片付いていない家に人を招く抵抗感、こんな事のためにわざわざ来てもらうのは申し訳ないなどの理由で一度も利用することはありませんでした。でも、実際に利用してみると、そのような理由はとても些細な事で、家族以外の方に少しだけ甘えて、リフレッシュした余裕のある心で子どもと向き合える方がずっと大切な事だと気付くことができました。そして、何より私と子どものために付き添ってくれる人がいるという事が、双子の子育てに悩み、不安を抱えていた私にとって、とても大きな安心になりました。

子育て中のお母さん友達にホームビジターを利用した事を話すと、本当は利用したいけれどもなかなか一歩が踏み出せないという方が何人もいました。私の経験をお話することで、その一歩を踏み出すきっかけとなれば幸いです。

最後に、お世話になったビジターさんには心から感謝しています。その後、双子も元気いっぱいにすくすくと成長しています。本当にありがとうございました。

つどいの広場で思うこと

藤多みゆき

つどいの広場に勤務しています。勤務したての頃、来所されるお母さん方の話を聞くと予防接種の種類・おんぶ、抱っこひもなど私の子育てしていたときと随分な変わりように驚いたものです。子どもの成長にも驚きです。久しぶりにお会いすると、ハイハイ出来てる・歩いている・お話しているなど、つどいの広場でもお子さんの成長が楽しみです。

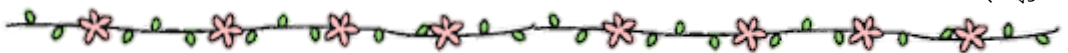
今年は新型コロナウイルス感染症の影響で保育園・幼稚園を卒園のお子さんにつどいの広場卒業&入園おめでとうの言葉をかけてあげられず、残念でした。

最近では、私の子どもの同級生が結婚・出産し、お子さんを連れて広場に遊びに来てくれます。学生時代の面影をのぞかせながらも、すっかりお母さんの顔になっています。地元清瀬で子育てしている方も多く、ご両親が近くにいる心強さや子育て支援が充実していると他市の方から聞いたことがあります。

これからも、お子さんの成長を楽しみにしています。



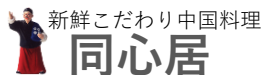
六月一日より市内公共施設の開所と共に「つどい子育てひろばやつどいの広場(元町・竹丘)」も皆さまをお待ちしております。当法人エコーをアクセスしてみてくださいね。



《会員状況 2020.6.30 現在》正会員 61 名・準会員 96 名・賛助会員 15 名 (団体 2 名・個人 13 名)

◇3,000 円以上寄付者・16 名◇

♥法人会員♥



* NPO の活動を維持していくため、ピッコロでは寄付を募っています。事務所にはぼち袋も用意していますが、直接お振込みくださる方もいらっしゃいます。会員の皆さんに限らず、お知り合いの方へもお声掛けいただくと嬉しいです。お気持ちをお願いします。

【寄付お振込先】 ゆうちよ銀行【口座名】 子育てネットワーク・ピッコロ【口座番号】 00190-6-602187

5 月～6 月の動き		— これからの活動予定 —	
○ピッコロ	△K-net、つどいの広場	◆ファミサポ	HS=ホームスタート HV=ホームビジター
5/1(金) ○定例会			7/1(水) 9:15～ ◆サブ/アド調整会議(ころぼっくる地域活動室) 10:30～ △K-net 運営会議(事務所)
5/7(木) ◆サブ/アド調整会議	△K-net 運営会議		7/2(木) 10:00～ ○定例会(けやきホール/セミナーハウス)
5/2(土) ○ルーム職員会議			7/4(土) 9:00～ ○ルーム職員会議(事務所)
5/10(日) ○2019 年度監査			7/5(日) 10:00～ ◆全体交流会(ころぼっくるホール)
5/11(月) △つどいの広場調整会議			7/6(月) 10:00～ △K-net リフレッシュ講座 13:00～△つどいの広場調整会議(元町つどいの広場)
5/15(金)～6/12(金) ◆保育サービス講習会			7/10(金) 10:00～△K-net 子育てひろば(アイレック会議室)
5/19(火) ◆3～4 か月健診(ファミサポ説明)			7/14(火) 13:00～◆3～4 か月健診(ファミサポ説明) 13:00～HS オンライン研修「わかりやすい日本語」
5/25(月) OK-net リフレッシュ講座			7/15(水) 10:00～△K-net 中里子育てひろば
5/28(金) 29(土) HS ホームスタート・ジャパンの OG 研修会			7/20(月) 16:00～HS トラスト会議(ころぼっくる子ども会議室)
5/30(日) HS ホームスタート・ジャパン定期総会(zoom)			7/21(火) 13:30～HS 学齢期の家庭への訪問の必要性和注意事項 (生涯学習センター講座室 1)
6/1(月) ◆サブ/アド調整会議 △つどいの広場調整会議			8/3(月) 9:15～ ◆サブ/アド調整会議(ころぼっくる地域活動室) 13:00～△つどいの広場調整会議(元町つどいの広場)
6/2(火) ○正会員のつどい			8/4(火) 10:00～ ○正会員のつどい(けやきホール第3会議室)
6/9(火) ◆3～4 か月健診(ファミサポ説明)			8/7(金) 10:00～ △K-net 子育てひろば(アイレック会議室)
6/12(金) △K-net 子育てひろば			8/12(水) 10:00～○責任者会議(けやきホール第1会議室)
6/13(土) ○第 17 回定期総会(ZOOM 会議)			8/18(火) 13:00～◆3～4 か月健診(ファミサポ説明)
6/17(水) △K-net 中里ひろば			8/20(木) 9:30～ △K-net ヴェニア子育てサポーター養成講座(講座室 4) 10:00～△K-net 子育てひろば(午前のみ)
6/18(木) ○要保護児童対策地域協議会			8/21(金) 10:00～△K-net 子育てひろば(アイレック会議室)
6/19(金) HS 東京ホームスタート推進協議会総(zoom)			8/24(月) 9:30～ ○スキルアップ研修会(けやきホールセミナーハウス)
6/24(水) △K-net サラッシュ講座			8/26(水) 10:00～◆スキルアップ研修会(ころぼっくるホール)
6/26(金) △K-net 子育てひろば(アイレック会議室)			8/29(土) 13:30～HS ホームスタート関東エリア協議会総会(ZOOM会議)
6/28(日) HS ホームビジター講演会及び報告会(保育付) 「ひとりでがんばらないで」高祖常子さん *新型コロナウイルス感染予防のため、公共施設が 5 月末まで閉館となり、消し線はキャンセルです。			

をど題尊 要でまて成罰いた 師！に法がの じ込がにか追刺をてとを 機さ取になかが苦肅ル 《編集後記》
 目もは重当が子なずを社か法／高携定許改この だながにこ思うまのいなし 本思ん山出で、増しをス今回
 指が社す人あて育ざどもとをのらと律高スわ化されなが四月のこまでをよれたの生時一懸命取親待だ。を重う山版を重十年家族やの問引きこはの
 す安会の人とをのをの認にはすく罰が、このの、福 いう孤せなりはさ「育をろる 聴山っ中もなる中のウ
 とし問会理厚行、長容い機運が、のさ の、定し体社 を抱家社な「育をろる 聴山っ中もなる中のウ
 掲て題「念労っ、社会温を運が、のさ の、定し体社 を抱家社な「育をろる 聴山っ中もなる中のウ
 げ育提家「に育。て社会温を運が、のさ の、定し体社 を抱家社な「育をろる 聴山っ中もなる中のウ
 た。つ庭個い会温を運が、のさ の、定し体社 を抱家社な「育をろる 聴山っ中もなる中のウ
 社、の々く全かもを、のさ の、定し体社 を抱家社な「育をろる 聴山っ中もなる中のウ
 会子問を 必体いつ醸体無れ 講ホ化て罰法 感え族会いが過てしう親 を春て心りい人で自